

2019年10月11日（金）

銀座書齋入居ビル清掃活動中に於ける銀座書齋への入室について

生井利幸

師が銀座書齋に滞在している時間に於いて、弟子が「銀座書齋入居ビルの清掃活動」を行っているとき、必要があるときは、弟子は師に対してインターホンでその旨を伝え、銀座書齋内部に入室することができます。

弟子は、以下の行為・活動を行うとき、インターホンでその旨を伝え、銀座書齋キッチンスペース、あるいは、中央スペースを使うことができます。

< 1 >

清掃活動をスムーズに行う上で、銀座書齋内部のキッチンスペースの水道を使いたいとき

< 2 >

生け花を生ける際に於いて、1)「キッチンスペースの水道の利用」、2)「中央スペースのレッスン用テーブルの利用」が必要なとき

お花を生けるとき、師が、銀座書齋内で、レッスン・英語稽古、来客に対する対応、打ち合わせ、社会貢献活動等を行っていない場合、キッチンスペース、及び、中央スペースのレッスン用テーブルを使うことができます。但し、レッスン・稽古がスタートする直前、来客が訪問する直前は、師はそのための準備があるため、使用は不可とします。

レッスン用テーブルを使って生け花を生けるときは、必ず、「レッスン用テーブルに置いてあるコーヒーカップセット、お菓子等、それらすべてを“向かって左隣のテーブル”に移動し」、レッスン用テーブルの上に何も無い状態でお花を生けてください。

生け花を生けた後は、しっかりと後片付けを行ってください。テーブル付近の床を綺麗にし、布巾でレッスン用テーブルを拭いてから終了してください。

注意：

中央スペースでお花の手入れをする必要がないときに、意図的に、“無理して”、中央スペースを使う必要はありません。

< 3 >

銀座書齋入居ビルの清掃活動中に於いて、休憩時間を持ち、「銀座書齋・中央スペース」にて、コーヒー・紅茶等を飲み、お菓子を食いたいとき

コーヒー・紅茶等を飲み、お菓子を食べる上でのマナーは、「銀座書齋・自習室」を利用するときのマナーに準じます。弟子が中央スペースでコーヒー・紅茶等を飲み、お菓子を食するときも、師は「奥の聖域」にて仕事を継続しています。

< 4 >

清掃活動中、あるいは、清掃活動終了時に、「身なりを整える」、「顔を洗う」、「手を洗う」、「鼻をかむ」等を行いたいとき

・・・補足・・・

< 1 >

上記事項は、師が、銀座書齋に滞在している場合に可能とされる事項です。

師が銀座書齋に滞在中、「銀座書齋入居ビル清掃活動中の弟子による、“銀座書齋内部への入室”」が可能なとき、師は、銀座書齋入口ドアに、「入室可能の表示」を掲示します。弟子は、銀座書齋内部に入室したいとき、事前に「入室可能の表示」の“有”・“無”を確認し、“有”のときに、インターホンで入室希望の旨を師に伝えてください。

時折、訪問者が銀座書齋入口ドアをロックするとき、師が「奥の聖域」で仕事をしていると、ロックの音が聞こえないことがあります。インターホンを使う理由は、相互のコミ

コミュニケーションを円滑に行うためです。

[重要]

- ・入室可能の表示： **privilege given**
- ・表示場所： 銀座書齋入口ドアに”privilege given”と書いた紙を貼り、掲示・表示。

< 2 >

弟子が銀座書齋・キッチンスペース、または、中央スペースを使っているとき、言うまでもなく、師は、「奥の聖域」にて仕事を継続しています。したがって、弟子が中央スペースに滞在するときは、弟子は、「弟子としての常識・マナー」を堅持・実行してください。

銀座書齋は、1)「生井利幸の弟子のための学問所、即ち、英語道弟子課程・第一稽古場」であると同時に、2)「普遍的、且つ、公平無私な学問の精神を基盤として、生井利幸が命をはって維持し続けている神聖なる書齋」であることを、自分の命に銘じてください。

< 3 >

生井利幸は、日々、レッスン・稽古、来客に対する対応、打ち合わせ等に加え、一般社会の人々に対して様々な社会貢献活動を行っています。同時に、生井利幸は、地球上のありとあらゆる組織・権力から“完全独立”して、普遍的立ち位置から、「学術研究、及び、創作活動（執筆）」を行っています。

完全独立した状態で、普遍的、且つ、公平無私な立ち位置から「価値あるミッション」を行うには、世俗社会に於ける通常人（“非常用” 語法）が備えるステレオタイプな価値観・捉え方では想像できないほどの「完全なる独立・孤立の状態（“超越的” 理性的孤独の状態）」、及び、「“超越的” 集中状態」が必要不可欠です。

それ故、師が過ごす“超越的” 時間的空間に於いては、前述したレッスン・稽古、来客に対する対応、打ち合わせ、社会貢献活動等がない場合でも、師自身、集中してミッションを行うために、「弟子の入室の特権」を賦与できない時があることを認識・理解してください。